

つるうち



「かがわマラソン 一弦打を駆け抜ける」

3月15日(日)午前10時にサンポート高松・あなぶきアリーナをスタートします。弦打でのルートは、市営飯田団地の東側の郷東川サイクリングロードに南から入ってきます。サイクリングロードは郷東川左岸堤防上を通っていて、右に河川敷・浄願寺山、左に農村風景・五色台の山並みと素晴らしい景観の中を進みます。青木の大明神からは農免道路に移り北進します。中所の産業道路の手前が30km地点。左折して前方に六目山や堂山など里山を望み産業道路を南進します。道沿いには会社や店舗が点在し、田んぼもある中で光明寺を過ぎ、元の南定木バス停のところを折り返します。そしてまさしく弦打の中央を南から北へ産業道路を駆け抜けます。郷東町交差点で右折して、郷東橋から市街地に向かいます。弦打内では、給水場がバンドーレテック(相作)、日本システムサービス(相作・大暮)、ツゲ炭酸(郷東)前に設けられます。通過時間はおおよそ11時過ぎから15時過ぎと長い時間になり、家から出にくくなる家もありますが、声援を送るなど市民ランナーを歓迎したいと思います。

特集

敬老会事業の今後について



コミュニティ協議会では、敬老会事業の見直しについて協議を行い、以下のような方針案がまとまりました。

1. 「梅」の配布廃止について

- ・令和9年度から、まちづくり交付金を使った「梅」の配布を廃止します。
(令和8年度は従来通り実施)
- ・ただし、自治会主催の敬老会式典は現状のまま継続します。

2. 今後の予定

- ・アンケート結果や今回の方針案は、「広報つるうち」や「センターだより」で住民の皆さまに広く周知します。
- ・最終的には、令和8年6月22日予定のコミ協総会で承認を得て決定します。

3. 令和8年度の対応

- ・令和8年度のまちづくり交付金申請額(1,330,000円)は変更せず、梅の単価も現状のまま据え置きます。
- ・令和8年度は移行期間とし、令和9年度から新たな体制へ移行します。

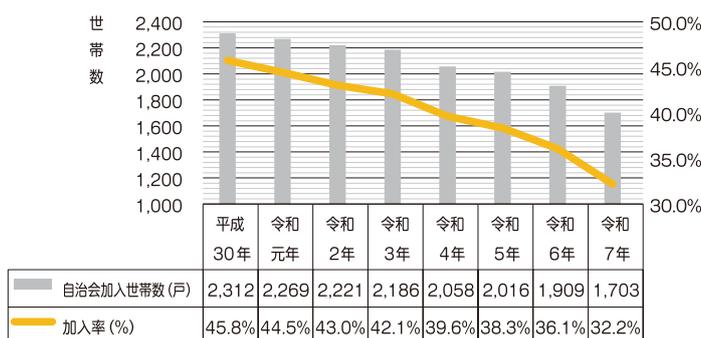
4. 令和9年度以降の新しい事業

- ・令和9年度以降は、まちづくり交付金(1,330,000円)を活用し、高齢者の皆さまにとってより良い新しいソフト事業を展開します。
- ・自治会主催の敬老会式典は継続しつつ、自治会へのサポート方法も検討します。
- ・住民の誰もが利用でき、運営者の負担が少ない新しい事業のアイデアを募集・検討していきます。

アンケートのご協力ありがとうございました。

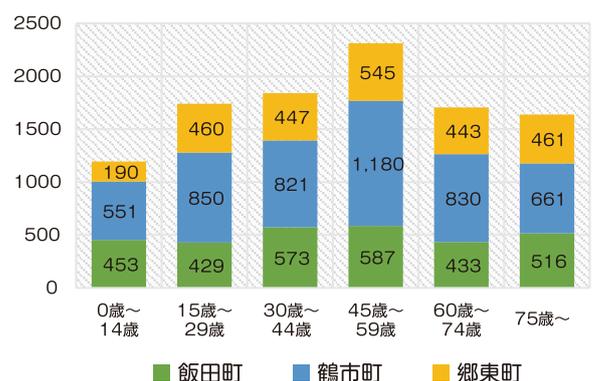
令和7年12月1日現在

加入率と世帯数

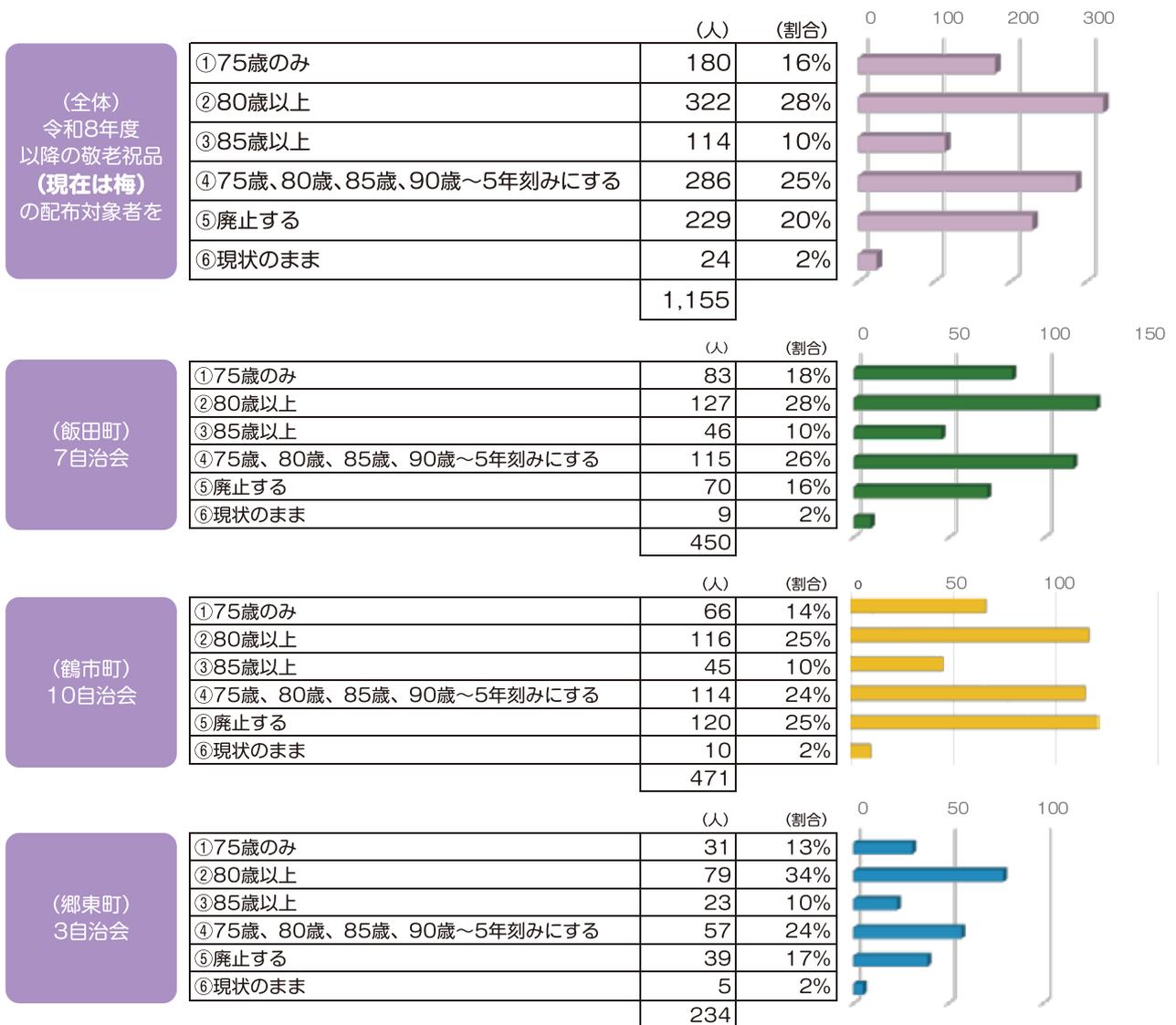


自治会加入率の推移↑

年齢別グラフ



アンケート回答状況



※もともと⑤廃止する選択肢はありませんでしたが、その他の記述欄に廃止、中止して欲しいという意見がたくさんありましたので、「⑤廃止する」選択肢を追加、集計しました。

その他(自由記述について): 抜粋

1 敬老祝品配布を中止にする。	10 できないのであれば、市役所職員が対応。もしくは廃止にしては。
2 80歳以上で自治会員様対象。	11 長寿社会になっているので、対象者を卒寿以上にする。
3 毎年梅ばかりである。金額を下げて他の品物でも良い。	12 敬老事業の中止もしくは祝品の辞退を可とする。
4 必要ないと思う。交流を考えて欲しい。	13 75歳の時と80歳以上配布対象に。配布の仕方を考える。
5 祝品廃止・支え合い事業や交通などに変えるべきです。	14 梅必要ない。子どもの為に予算を使ってほしい。
6 自治会員さんの負担になるので必要なし。	15 祝品を見直す。
7 特に必要ない。自治会で敬老事業を実施。	16 小学生の負担を減らしてそちらにお金を使ってほしい。
8 対象者が増加するので廃止で良い。	17 敬老会事業をやめて子どもに使ってください。
9 自治会会員のみで75歳以上全員。	18 中止してこどものために使ってください。

全体 自治会加入世帯数 1773世帯 | アンケート回収世帯数 1187世帯 | 回収率 67%

弦打ふれあい文化祭

文化祭を指す名称として長年使われてきた「弦打地区地域ふれあい交流事業」は、令和7年度に「弦打ふれあい文化祭」という親しみやすくシンプルな名称になりました。今年も地域の皆さまのご理解とご協力のもと、盛況のうちに終了いたしました。開催にあたり、多岐にわたる業務を実行委員会で分担し、円滑な運営に努めました。



11月9日(日)の文化祭当日は、雨の一日となりました。運動場の催し(地域団体のバザー、キッチンカー)に、人が寄っていきにくいという影響を受けましたが、体育館では幅広い世代にお越しいただき、地域のステージ発表や、作品展示の鑑賞に、大勢の人が参加しました。伝統芸能である獅子舞については、例年

1組だけがオープニングを務めるのですが、それに加えて今年はラストに5つの獅子組が「競演」しました。会場全体が一体化していたといっても過言ではなく、「弦打が好き!」という言葉が出てくるような、開催の意義を改めて確認することができました。

本事業を通じ、地域住民の交流促進と文化継承の重要性を再認識するとともに、今後の運営改善に向けた課題も明らかとなりました。実行委員会の一部の方に負担がいく点で、ボランティアの限界のようなものです。これらの成果と反省を踏まえ、次回以降もより充実した文化祭の実現に努めてまいります。



| 弦打地区慰霊祭が開かれる |

11月3日文化の日、令和7年度弦打地区慰霊祭が岩田神社境内にある巖玉神社の前で弦打コミュニティ協議会弦打地区遺族会(会長 井角 清)の主催で開催されました。巖玉神社は、日露戦争、日中戦争、太平洋戦争の弦打地区戦没者を祀った神社です。当日は天候にも恵まれ、遺族会の会員のほか、国会議員や地区内の各種団体の代表の方々など大勢の参列をいただきました。

今年は太平洋戦争の終戦から80年を経た節目の年にあたり、井角会長の哀悼のことばに続き、神式の式典で、参列者各自により玉串奉奠を行いました。



勝賀中ダンスクラブ、HIPHOP 男女混成部門で頂点へ！ 個人 SOLO でも輝く

令和8年1月10日(土)第十五回全国中学校ダンスドリル冬季大会が開催され、地方予選を勝ち抜いた勝賀中学校ダンスクラブが、HIPHOP 男女混成部門にて優勝しました。

更に個人 SOLO 部門でも勝賀中学校2年三井風和さん(定木在住)が見事優勝を勝ち取りました。この素晴らしい結果は、日々の努力と仲間との絆が生み出したものです。これからも勝賀中学校ダンスクラブが新たな夢に向かって、さらに輝き続けることを心から願っています。



弦打の歴史紹介



こうづいけ 高月池



高月池は、飯田町の北の端にあり、鶴市町に接している。平地にあって周りを正方形に近い形の堤防で囲んだ皿池である。貯水量8万5千トン。堤長735m。堤高4.1m。池敷面積3.93ha。灌漑地域は鶴市町南部で、大明神(だいみょうじん)水利組合の所轄である。



池の築造年代は不明である。仁和2年(886)に讃岐の国司となった菅原道真が、この池に舟を浮かべ弦打山(浄願寺山)の月を賞したので、この池を高月池というとの伝説がある。江戸時代末の1800年頃の高松藩領絵図には、上月池と記されている。

また、池の南堤に「弦打の 山より出ずる 月影は 弓張りところ 言ふべかりけれ」の石碑が建てられていて、室町時代の連歌師・宗祇法師の作とされており、弦打の地名の由来ともいわれている。

一時、白鳥のいる池として知られていたが、今はいなくなっていて、水面に蓮が広がっている。

さらに、北側50mのところ5世紀後半の大陸型甲冑等が出土した相作(あいさこ)馬塚(うまづか)古墳跡がある。

